

三隅町長 稻田正治

而して此の一期間に起りま
した町村合併問題を契機とし
て策定致しました本町建設
政治と考え、議会に於て慎重
審議の上、一旦議決され、
執行を受けました災害の復旧
と事務柄に關しては議会の
大いなる協力を以て喜びとするが

しく明るく親切で迅速に」をモットーとして処務することゝを要請しています。

又地方自治法に依つて定めてゐる監査委員制度を充分に活かすことに心掛け、収入役金計を始め事務万般に耳り充分に監査委員の御骨折を願ひ、

災害復舊の足掛 ます。

本年度本町行政の第一重点

茲に私は再選就任に當り、其の職責の重大であること、を痛感致しますと共に、此の諸種の事情に依り二月若くは多岐多難であることが予想さるる本町の行政四年間を至誠り、現在工事中のものか土木一貫渾身の努力を捧げて歩み、耕地を合し九十数か所で工事抜かんことを決意致し、皆楨の温かき御支援を意願して止まないのであります。

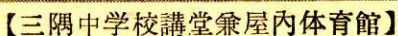
は何と言つても災害復旧の促進であります。昨年度工事は、橋及び町道復旧等で六五四万圓、農地十七町二反の復旧、耕地の橋梁七、いぜ一〇、堤とう一七、農道二で一九〇〇、余万圓、其他を合し計二五二万八五〇〇圓の特別会計計畫を立て、之が復旧を計畫しています。之は更に県及国

護岸、二條窪川、辻並川、杉

本町行政に當つて私の念願

社増進と町將來の發展の基盤校の復旧も着工進捗中であり町民福祉の増進を期する

在を發展的な場として構成し、完成しますが、將來是非ともなければなりません。新設したいと計畫しています。此の意味から地域の血管をものは三隅駅より広田、中村をなし産業文化發展の基盤をなすものは道路でありますので木に通ずる町道兼農道と、私は道路の改修新設に特に力の懸線、中村大竹線等でありました。林道は奥大里線に本年を入れたいと存じています。ます。国道は過去四ヶ年間継続工度国費補助施工の見通しを得事として施工中であります。次は河川海岸の護岸改修に三十年度は更に鬼渡谷、中小野より崩えとその延長を請願依り災害防止を図らねばなりし、奥内山陰国道中改修二ヶ所の一に加えられて実施のこ修三五〇〇万円、災害助成にとなつています。町道は本依る杉山、鷹取間改修七〇〇万円



五、社会福祉 社会保障
 生活保護、医療保護の適正兼ねまして施政方針を概説致しました。終りに重ねて皆機心の心からの御支援に依り此の目的が達成されますこと衷を心より念願致します。

昭和三十年二月二十七日執をさず、有権者各位が覚められた月二十七日執行の衆議院議員総選挙並に結果にして町選管と致しました最高裁判所裁でも當然の實務を果したことを判官国民審査をよるこんで居ります。それ投票から引続で、今後はこの上共に正しいき衆議院議員明期の選挙をおしするた一般選挙縣教民に平素において公明選挙の育委員会委員推進を行い正しい投票、明る補次選挙、三回の選挙を行つて務める者に限り町議会議員で三次に亘り行なわれた選挙一般選挙と三につき不明朗な欠陥等はこれ

各位に於れては法律に定められた權利を有意義に行はせられ目出度く選挙もここに終了致しました。これに對して本町の投票率をみるに
 一、衆議院議員總選挙に於ては九三、三七％
 二、最高裁判所裁判官国民審査投票に於ては九一、四〇％
 三、衆議院議員一般選挙に於ては九二、八一％
 四、縣教育委員会委員補欠選挙に於ては九二、八一％

次に互に執行を是正してよりよい公明選挙をせられ有権者をうちたてたいと念願して居ります。

次の三隅町長並に三隅町議會議員一般選挙に於て當選者を次にお知らせ致します。

三隅町長當選者	豊原 稻田正治(五才)
三隅町議會	
議員當選者	
部落名	氏 名
小島	小西誠治 三三才
市	原田与作 五二
豊原	白藤孝亮 三七

水稻肥料の施し方

豊原	豊波瀬	豊原	下中野	浅田	滝坂	滝坂	淺田
原田惣吉	宮崎憲治	田中良作	田村皐月	石村右一	山本英次	藤井孝一	杉原謙一
五二	三九	五八	四三	五〇	四九	五五	五四
東方	小島	東方	土手	正樂寺	野波瀬	野波瀬	津雲
杉山重治	沖村信一	西村七郎	田中早苗	刀福栄	中野一江	佐伯益藏	大谷秀輔
六〇	五一	六一	六〇	五五	五七	五七	四三

五、糞肥	一貫一貫五
溶成磷肥	三貫一四貫
鹽化加里	二貫
二、堆肥	二〇〇貫一五〇〇貫
鹽安	五貫(全層施肥)
魚肥	三貫
トーマス磷肥	三貫一四貫
鹽化加里	二貫
三、堆肥	二〇〇貫一五〇〇貫
雞糞	二〇貫(一日前)
鹽安	二貫
過磷酸石灰	二貫
鹽化加里	二貫
四、堆肥	二〇〇貫一五〇〇貫
水稻配合七号又は八号もしくは日の本化成組合化成の場合	一〇貫
五、堆肥	二〇〇貫一五〇〇貫
ともえ化成又は水稻配合五号の場合	一二貫
施用上の注意	
一、堆肥はなるべく沢山施すこと	
二、鶏糞、魚肥、油粘等廉價に入手出来れば利用のこと	
三、秋落地区には硫安や過磷酸石灰の様な硫酸を含んだ肥料は施さないで窒素質としては石灰窒素、尿素、鹽安等の無硫酸根肥料を磷酸質としては溶成磷肥トーマス磷肥を施用のこと	
四、分けつ時の追肥の施し方としては一、二、三例では七月一日頃に鹽安を二貫位施せばよい、四、五例又は	